

## 東海学連・北信越学連・北東学連のセレクション通過までの軌跡

選手権クラスを走るまでには長い長い道のりがあります。プレセレを行う関東学連、ポイント制を取り入れている各学連。ここではポイント制を取り入れている3学連のレース結果を紹介し、複数のレースでさまざまなトレインや状況でいかに安定した成績を残した結果のポイント通過かを紹介したいと思います。わずかなポイントの差で涙を飲んだ選手もいます。彼らは一般クラスや団体戦で必ずやすばらしい活躍を見せてくれると期待しています。

### 《東海学連》

#### レース#1：下山OL大会@11月30日(日)《 HANAZAWA 》

三河高原の一部をなし、いくつかの山塊で構成される。概して急峻で、地形は複雑に変化している。通行可能度は良好ながら、見通しはそれほど良くない。クラスと目的に応じた適切なコースが提供されるが、概して難解なトレインである事は言うを待たない。トレインの特性上、距離に対して登距離は多くならざるを得ない。(下山OL大会プログラムより引用)

MS 3	6800	485	1.三宅文彦	名古屋3	1:13:35
			2.内藤愉孝	静岡4	1:19:16
			3.李敬史	静岡4	1:20:33
			4.櫻木伸也	静岡2	1:28:58
			5.樽見典明	名古屋2	1:31:07
			6.佐藤崇雄	静岡2	1:45:54

この結果、三宅(名古屋3)がセレクション通過。下位では、内藤と李、櫻木と樽見、で僅差のポイント争いになっている。特に櫻木、樽見の両者はボーダー上での争い。ところで、下山OL大会は、4学連の参加した合同セレクション。どのセレクションコースも似たり寄ったり、という状況にあった。その中で単純にタイムだけ比較すると、5位までの人間は全員他学連のセレクションを通過するタイムであり、今年の東海学連男子のセレクションの厳しさを物語っている。

WS 2	3850	250	1.西脇千可子	栢山女学園3	57:17
			2.鈴木千佳	栢山女学園3	59:54
			3.鈴川はるな	静岡2	1:03:32
			4.寺島香織	栢山女学園3	1:08:35
			5.志村和子	栢山女学園3	1:09:54
			6.柴田理恵	栢山女学園2	1:11:27

女子は、この時点では通過者はまだ未定。上位3名が頭一つ抜け出たような構図になった。

#### レース#2：東海学連冬合宿レース@12月27日(日) 地図：黒坂・切山 縮尺：10000^-1

トレインの特徴：「三河3daysの1日目のプログラム」のトレインプロフィール参照

コースの特徴：男女のコースは、共にR301の北側の地域のみで構成されていた。

- ・ 様々なルートチョイスの考えられるコース設定であり、走者間で明確にタイム差が出た。

MSEL	5540	415	1.三宅文彦	名古屋3	1:02:09
			2.李敬史	静岡4	1:06:32
			3.樽見典明	名古屋2	1:10:22
			4.内藤愉孝	静岡4	1:14:03
			5.櫻木伸也	静岡2	1:15:16
			6.佐藤崇雄	静岡2	1:24:10

- ・ 男子は、下山セレクションに引き続き三宅が優勝。この結果、残りの3枠はポイントの上位3名で決定する。上位6名は、レース#1と全く変わらないメンバーとなった。

WSel	3560	250	1.西脇千可子	栢山女学園3	1:04:05
			2.志村和子	栢山女学園3	1:13:52
			3.江上幸子	栢山女学園3	1:13:52



永橋 慎一 金沢大学（4年） 通過

菅藤 望 金沢大学（3年） 通過

☆女子では、インカレショート2位の大家がおしくも代表の座を逃すこととなった。

## 《北東学連》

### 【北東インカレ@田代】

北東学連の中でも一番参加者が多く、重要なレース。男子は堀江、浜田が順当に一発抜けて通過  
女子は姫野の不在により、上位3名が僅差の争いになった末高泉が勝ち抜いた。

北東 IC

男子	1	堀江	0:55:09	⇒通過
	2	浜田	0:57:04	⇒通過
	3	後藤	0:57:55	
	4	銚立	0:58:02	
	5	櫻本	0:59:34	
	6	樋山	0:59:46	
	7	西岡	1:03:00	
	8	斎藤	1:03:50	
	9	蒲池	1:05:22	
	10	小林	1:06:07	
女子	1	高泉	1:00:18	⇒通過
	2	高橋(睦)	1:00:58	
	3	下村	1:01:00	
	4	櫻井	1:03:55	

### 【京大大会セレ】

このレースは男女共荒れた展開となり、独自セレまで誰が通過するかわからない状態となった。  
その中でも後藤が無難にレースをこなし通過。女子はポイントのみ対象のレースだったが、  
前レースに出走しなかった姫野が存在感を見せ付けた。

京大	1	後藤	00:58:30	⇒通過
	2	樋山	01:00:13	
	3	高橋	01:01:31	
	4	蒲池	01:03:59	
	5	山口	01:09:56	
	6	西岡	01:10:39	
	7	山村	01:12:53	
	8	櫻本	01:13:29	
	9	斎藤	01:15:59	
女子	1	姫野	00:56:24	
	2	高橋(睦)	00:57:35	
	3	高橋(舞)	01:02:20	
	4	千葉	01:05:46	

### 【独自セレ@菜の花台】

当学連諮問委員が主催となって開いてくださるセレクション。今年度はサン・スーシの多大な協力を得、素晴らしい環境下でのレースが実現。女子はダントツトップだった姫野が貫禄の一発抜け、男子も櫻本が全体でもトップの好タイムで前レースの悔しさを晴らし通過もう一つの枠は前2レースを好タイムでまとめていた蒲池が通過した。

独セレ	1	櫻本	0:56:37	東北4	⇒通過
	(2)	堀江	0:57:29	東北4)	

	(3	浜田	0:58:31	東北3)	
	4	蒲池	1:00:25	東北3	⇒通過
	(5	後藤	1:00:32	東北2)	
	6	鉾立	1:00:45	東北2	
	7	南茂	1:04:35	岩手3	
	8	山口	1:04:48	岩手3	
	9	樋山	1:05:02	東北3	
	10	川島	1:07:38	北大2	
	11	高橋	1:08:15	東北2	
	12	横山	1:12:10	東北4	
女子	1	姫野	0:56:31	東北4	⇒通過
	2	櫻井	1:02:59	宮城女子4	
	3	千葉	1:09:21	宮城女子2	
	4	下村	1:09:43	岩手3	
	5	高橋	1:11:33	宮城女子4	

### 【ポイント結果】

男子は各レースを安定した成績でまとめている選手が通過している。東北からは鉾立、樋山が順当に通過、今年の成長株2年の高橋も、先輩に続きポイント3位で通過した。北海道からは西岡が実力で2本のみでのセレ出場でそのポイントでそのまま通過。岩手からは8年振りのエリートが誕生。勢いに乗って一気に山口、南茂の2名が通過した。女子は上級生が占めた。MGの高橋(睦)が3レース共好タイムで文句なしの通過、残りの2枠は最終レースまで誰が通るか分からない状況だったが、経験豊富なMGの櫻井、岩手の下村が強さを発揮して通過した。

## セレクションの感想&エピソード

### 《東海学連》

#### ・ 北東インカレの効能？@レース#1

時間に余裕を持って到着した執筆者は、レース前に静大生と戯れる時間が少しはあった。

が、会場内で、今年度ICS14位の内藤さんを見た記憶がない。

実は、内藤さんは、下山セレクションの朝に寝坊していたようで。

「もし自家用車で下山に来た事がなかったなら、スタートには間に合わなかったかも」

との本人のコメント。しかし実際はちゃんと時間どおりにスタートしていたらしい。

実は、夏に「田代」で行われた北東インカレに参加していたおかげで、どの道をどう行けばいいのかが分かっており、愛車を飛ばして辛うじて間に合ったと。

で、どうにか会場に到着&即スタート(したのかな?)。

それでも、MS3では2位を獲得。この辺はもはや「貫禄」を感じます。

いや、「日本学連副幹事長の意地」とも思える。

#### ・ 10000円でエリートになった男@レース#2

今年度男子4位でセレクションに通過した樽見君の話です。

セレ当日は、名鉄東岡崎駅から三河路のバスでセレクション会場に向かう手筈になっていたのですが、彼が起きたのは、それ以外の人が東岡崎駅から別の名大生が電話をかけたときだった。

交通の便の悪さと所要時間を瞬時に計算したのだろうか、どこからともなくレンタカーを借りて、時間ギリギリで作手の山奥に到着。レースのスタート時刻が30分繰り下げになっていたことも幸いしてどうにかスタート時間には間に合ったようで。

そんな状態で望んだレースだったが、結果は上に書いた通り。

ちなみに、車を借りるのにかかったお金は、9000円だったらしい。

なお、彼はレース中に6jetspectraを破損しましたので、そこまで考慮すると、伊賀インカレ男子エリート権の価格は16000円也。

これが高いのか安いのか、執筆者には分かりかねます。

この話は、彼のいい面（高い行動力）と悪い面（寝坊癖）の両方が出ていますね。

## 《関西学連》

男子に関しては妥当な結果であるといえるだろう。

新宅氏の速さに関しては定評があり、今回のセレクションでも二位と7分以上の差をつけてゴールしている。

1回生において京都大学の西康平がエリートに選出されたことがこのセレクションにおいてはトピックであろう。

女子に関しても同様に妥当な結果であると思われる。

## 《中九四学連》

秋吉台は3月に行われる全日本大会の会場だが、山大学生は役員として動くので、試走、会場のシュミレーションをかねて秋吉台で行った。カルスト地形はこの時期は植生が大変悪いので林を中心としたコースで行われた。

中九四学連とはいえ山口大だけの部内での戦いとなった。

## 《北信越学連》

セレクション通過者の感想

- ・京大大会のセレクションは、いつもより地図を読んで、スピードを出しすぎないようにした。その結果として大きなミスなく無難に帰ってこれたと思う。(松室)
- ・花沢にのみこまれた。納得のいく結果ではないが全力は出せた。(天谷)
- ・セレ通過でき大変うれしいです。悔いのないレースができるように頑張りたいと思います。(鎌田)
- ・セレでは1、2戦ともトレイン各所にある急な傾斜に苦しめられた。何度もコンタリング中に沢に落ちそうになった。コースとしてはポスト付近までは比較的楽に行けるが、ポスト周りが微地形だったのでアタックポイントからポストまでが難しかったレグが多かったと感じた。それでも大きなミスをする事なく、いいレースができたと思う。(永橋)
- ・波乱万丈なセレでとてもスリリングでした。(菅藤)